

報道発表資料

2016年9月9日

新しいPVQスコアにより、自動ビデオQCソリューションの誤判定を低減

テクトロニクス、機能強化されたビデオ障害検出機能を搭載し、Amazon Cloudで動作する、AS-10 PAD仕様に対応したファイルベースQC Auroraの新バージョンを発表

テクトロニクス(代表取締役 米山 不器)は、本日、ビデオ制作、ポストプロダクション、コンテンツ配信、放送局などで使用される [Aurora 自動ファイルベース品質管理システム](#)の機能強化を発表します。これにより、膨大な量のコンテンツの効率的なテスト/モニタリングが可能になります。

(Aurora <http://jp.tek.com/aurora>)

強化される機能の一つは Aurora に追加される機能である、PVQ (Perceptual Video Quality、知覚ビデオ品質) 測定であり、ファイルベース・コンテンツの品質測定を正確にします。もう一つの機能強化が、AWS (Amazon Web Service) クラウド環境での動作と、フランスで求められる AS-10 PAD 配信仕様の Aurora サポートです。

放送業界が多くのサービスをファイルベース配信へと移行し、マルチスクリーンまたは Over-The-Top (OTT) メディア・サービスが普及するにつれ、テスト/検証が必要なビデオ・コンテンツの量は急速に増加しています。すべてのコンテンツの効率的に維持するためには、自動 QC ツールの使用が適しています。このツールは、マニュアルでの QC に比べて速度、コストに優れていますが、自動ツールには、視聴者体感に実際に影響を及ぼさない誤判定を除外しなければならないという難しさがあります。

今回の Aurora の発表では、テクトロニクスはビデオ・ネットワーク・モニタの Sentry ファミリーで実績のある PVQ 技術を取込むことにより、直接的にこの問題に対応しています。これにより、長年における現実の検証をベースにした正確な品質測定が可能になり、オペレータはファイルベースとライブ・ストリーム・モニタリング技術との相関性が得られます。Sentry 同様、Aurora も QoE (Quality of Experience、ユーザ体感品質) に影響を及ぼす、ビデオ圧縮障害を検出するために設計された専用のアルゴリズムを使用して、ビデオ・コンテンツを解析できます。また Aurora は、MOS (Mean Opinion Score、平均オピニオン評点) と似たフォーマットにより、ビデオ品質をグラフ表示します。業界で知られている測定基準の MOS は、視聴者の視点で認識される、品質の数値表現です。

テクトロニクス、ビデオ・プロダクト・ライン、ジェネラル・マネージャのチャーリー・ダン(Charlie Dunn)は、次のように述べています。「コンテンツ配信は、マルチスクリーンや ABR(Adaptive Bit Rate) 配信モデルに移行しているため、ファイルベース・コンテンツの品質維持は終わることの無い仕事になっています。Aurora に新たに追加された機能は、当社のお客様がすべてのコンテンツの品質を管理するために貢献します。従来、自動ツールには PVQ のような機能はありませんでした。これにより、効率、コスト低減、究極的な品質改善において大きな役割を果たすこととなります」

Amazon クラウドにおける Aurora

クラウドベースのコンピューティングはすべての業界で急速に成長しており、ビデオ業界もその例外ではありません。クラウドベースのソリューションには、先行投資が不要、利用ベースの課金モデル、改善されたスケーラビリティとセキュリティなど、数多くの利点があります。Amazon クラウドでの Aurora では、さまざまなソース、さまざまなビット・レートでのエンコード、SD/HD、VID、または IPTV による配信など、さまざまな圧縮規格で取込まれるファイルベース・ビデオ・コンテンツに対して、スケーラビリティに優れた自動解析が可能になります。

AS-10 PAD 配信仕様

今回、Aurora は AS-10 PAD 配信仕様サポート機能を含んでおり、コンプライアンスのためにフランスの放送局に配信されるコンテンツをテストすることができます。さまざまな地域の放送局は、ポストプロダクションから配信されるファイルに対して新しい規制を義務化しており、フランスの最新版が AS-10 PAD です。UK-DPP と今回の AS-10 のサポートにより、ポストプロダクションにおいてコンテンツが配信仕様に適合することをテストし、コンテンツ品質を確認することが可能になります。

Aurora は、IBC 2016 の展示会で発表される革新的なビデオ・テスト・ソリューションです。エンタテインメント、ニュース・コンテンツの制作、管理、配信に携わるプロフェッショナル向けのイベントである IBC 2016 は、8 月 9～13 日、オランダ、アムステルダムで開催され、世界 170 ヶ国から 55,000 人以上の参加が見込まれ、1,600 以上のメーカーが製品を出展します。テクトロニクスのブース(10 D41)までお立ち寄りください。

テクトロニクスについて

米国オレゴン州ビーバートンに本社を置くテクトロニクスは、お客様の問題を解決し、詳細の理解を深め、新たな発見を可能にする、革新的で正確かつ操作性に優れたテスト/計測モニタリング・ソリューションを提供しています。テクトロニクスは70年にわたり電子計測の最前線に位置し続けています。

ウェブサイトはこちらから。 jp.tek.com

テクトロニクスの最新情報はこちらから

Twitter ([@tektronix_jp](#))

Facebook (<http://www.facebook.com/tektronix.jp>)

YouTube (<http://www.youtube.com/user/TektronixJapan>)

お客さまからのお問合せ先

テクトロニクス お客様コールセンター

TEL 0120-441-046 FAX 0120-046-011

URL jp.tek.com

報道関係者からのお問い合わせ先

テクトロニクス 広報室 瀬戸

電話: 03(6714)3097 Fax: 03(6714)3667

Email: seto.atsuko@tektronix.com

Tektronix、テクトロニクスは Tektronix, Inc.の登録商標です。本文に記載されているその他すべての商標名および製品名は、各社のサービスマーク、商標、登録商標です。